

# ちひろカレンダー普及推進ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会 電話：03-5842-6031  
Eメール：antiatom55@hotmail.com

2015年  
12月4日

## カレンダーが売れて、売れて 事務局6人が大健闘！

11月28日、29日に開かれた拡大担当常任理事会の討論で、栃木県原水協の大岩さんの「ある地域ではカレンダーが売れて売れて」との発言に驚きの声があがりました。それは、栃木県的那須町など5市4町で活動する県北原水協のとりくみでした。以下紹介します。

### 昨年を60本上回る310本に挑戦！

県北原水協は、いままで平和行進にはとりくんできましたが、原水協としての事務局体制はありませんでした。今年7月、県北地域の5市4町から36人を代表者として確認し、6人の事務局体制を確立しました。

事務局会議、定例会議を毎月開催。ちひろカレンダーについて、会議の時にDVD「いわさきちひろ～27歳の旅立ち」の鑑賞などしながら、来年の3・1ピクニデーや世界大会への代表派遣の資金とするために、昨年を上回る310本の普及目標を確認。この間、事務局員が普及の先頭にたってきました。



事務局員の畠山さん(写真左)

### 世界大会初参加、原水協も初めてで大活躍

畠山さん(右上写真)は、「原爆の火」が灯る東輪寺の檀家さんとして、「火」の行事に参加したことがきっかけで、今年初めて世界大会に参加。今回は事務局員を引き受けました。これまでは「ちひろカレンダー」は1本の購入でしたが、今回は家族や知り合いにも声をかけて10数本普及しました。

昨年はゼロだった人も今年は20本普及しました。ある画家さんは、いつも文房具屋さんをお願いしていましたが、あまり売れないので引き揚げて、美術家仲間などに14本普及しました。

いままで、いくつかの市や町を担当していた人が、忙しくてできないというところは担当者を変えてもらうなどの努力もおこなっています。